

住人十色

第 160 回

暗闇を抜けて立ったスタートライン 夢をかなえて歩むプログラマーの道

久世 康晴さん(22) 〓内子17〓



◎ゲーム作りの技術を身に付けて、ゆくゆくは自分が考えたゲームをリリースしたいと、さらなる夢も語ってくれました

次代のIT人材を発掘する「U-22プログラミングコンテスト」があり、久世康晴さんが、全国328作品の中から6作品に贈られる経済産業省商務情報政策局長賞を受賞しました。作品名は「E-SCAPE」。襲いかかってくる敵から逃れるホラーゲームです。講評では「すぐに商品化できるほどの完成度」と高い評価を受けました。久世さんは「素晴らしい賞をもらい夢のよう。驚きとうれしさで胸がいっぱい」と笑みをこぼします。

久世さんは幼い頃からゲームが好きで、専門学校でゲームのプログラミングを学んでいます。夢をかなえ、春から東京のゲーム会社でプログラマーとして働くことが決まりました。「高校生のときに人間関係に悩み、大きな挫折を味わった。心がつぶれそうなとき、支えとなったのはゲームと母の優しさだった」と、つらかった経験を語ってくれました。進路を提案したのも母だったという久世さん。「ずっと見守り続けてくれたから、『好きなことで頑張ろう』とまた前を向くことができた」と感謝の気持ちを口にします。「まだスタートラインに立てたばかり。不安もあるけれど、ワクワクしている。この賞を自信と誇りにして、精進していきたい」と決意を新たにしています。

編集 幸記

▽最近驚いたこと。「ブラッシュアップライフ」というドラマで、内子町と同じ5時のチャイムが鳴ったこと。夜中に見ていたので、誤報かと焦りました。調べてみると「夕焼け小焼け」は東京都の多くの区でも採用されているようです。なーんだ笑(裕)

▽節分の豆まきや大久保地区の大わらじなど「鬼」を追い払う行事もいろいろ。わが家の6歳と3歳の息子は、豆を投げるだけでなく「いないふりをする」という新しい技を覚えました。成長を感じますね(史)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

